

タイトル	自分なりの考え方ー 私にとって一番大切な事
ポーランド語のタイトル	Moje przemyślenia – to co jest dla mnie najważniejsze
テーマ *	c
名前	バルバラ・ビシャ
ポーランド語の名前	Barbara Bisha
学校名 * 2	祭語学学校・Matsuri – Szkoła Języków Orientalnych
学年	大学 2 回生

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

今日は重要な日です。日本語が大好きな人達と出会えただけで私は幸せな気持ちと感動でいっぱいです。私がここに来たと言う事実は「日本語学習」と呼ばれる大冒険部分の大切な一部分です。でも、この一部分こそが私にとって素晴らしい思い出になります。

ずっと言葉で自分の気持ちを表したいと思っていました。言葉だけでは表せないこともあります。でも、このコンクールのおかげで私の人生で何が最も大切な事をみんなに伝えることができます。このスピーチ・コンテストはいい思い出だけではなく、いい経験にもなります。

今まで色々な事にチャレンジをする勇気がありませんでした。でも、日本語を始めてから、色々なイベントのお手伝いや日本語を通じてたくさんの友人ができました。

日本語の勉強では粘り強く真面目でなければなりません。そして、それを断念しないためには目標や、尊敬する人も必要です。

私には尊敬する人が二人います。一人目はポーランド人のカミル・ストップ選手です。ストップ選手は 9 歳でスキージャンプを始めました。12 歳の時、ポーランド最大のザコパネ・クロキエフシャンツェで 120 メートル飛びました。幼年の頃から彼は人一倍頑張っていました。重要なメダルを十四個も勝ち取っています。手術を受けたのにもかかわらず、彼はもう十八年間も飛び続けています。ポーランドでストップほど真面目なスキージャンプ選手はいないと思います。

二人目は日本人の葛西紀明選手です。彼はストップと比べると経験豊富な選手です。葛西紀明選手はもう三十三年も飛び続けています。彼も十歳ぐらいの頃から始め、メダルを 19 個も獲得しています。

どちらも今に至るまでは普通の人には考えられないような努力をしています。たとえ、メダルをとっても次のステップに進めるように常に目標とするレベルを上げながら練習をしていました。勝ち負けよりも自分自身と闘っているように思えました。

私も自分自身と闘って、自分が弱い部分、特に苦手だった人前で「話す」ということを克服しようと思いました。

日本語と一緒に勉強している仲間のおかげで日本に留学したいという夢もできました。そして、その夢は夢だけでは終わらせません。頑張れば、私でもコンクールに出たり、ちゃんと自分の意見を伝えられるような人になれるはずです。これが私の第一のステップです。第二のステップが今から待ちきれません。